

【 医療機関を受診した場合の、医療機関記入例となります。  
医療機関を受診した場合は、ご本人で医療機関に証明をご依頼ください。】

様式第4号（附則第2条関係）

## 国民健康保険傷病手当金支給申請書（医療機関記入用）

医療機関 担当 者が 意見 を 記入 する と ころ	患者氏名	国保 二郎																		
	傷病名	新型コロナウイルス感染症による呼吸器疾患（肺炎）	初診日	令和2年3月13日																
	発病年月日	令和2年3月10日																		
	労務不能と認められた期間	令和2年3月13日から											発病の原因	不詳						
		令和2年3月27日まで																		
	うち、入院期間	令和2年3月13日から											療養費用の種別	<input type="checkbox"/> 国保 <input checked="" type="checkbox"/> 公費（感染症） <input type="checkbox"/> 自費 <input type="checkbox"/> その他						
		令和2年3月27日まで											転帰	<input checked="" type="checkbox"/> 治癒 <input type="checkbox"/> 中止 <input type="checkbox"/> 繰越 <input type="checkbox"/> 転医						
	診療日及び入院していた日を○で囲んでください。	令和2年3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	診療 実日数	15	日
			16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
		令和 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	診療 実日数		日
	令和 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	診療 実日数		日	
上記の期間中における「主たる症状及び経過」「治療内容、検査結果、療養指導」等（詳しく）																				
新型コロナ感染症の感染の疑いのため、3/13初診。検査の結果陽性であり、肺炎の症状がみられたため同日から入院。2週間程度で症状の改善が見られ、3/27に実施した検査において陰性となったため退院。											手術年月日	令和 年 月 日								
											退院年月日	令和2年3月27日								
症状経過から見て従来職種について労務不能と認められた医学的な所見																				
肺炎の症状の改善後も感染拡大防止の観点から、検査が陰性となるまでは入院が必要であったため、入院期間は労務不能と判断した。																				
																			令和2年6月20日	
上記のとおり相違ありません。																				
医療機関の所在地	△△県◇◇市××町1丁目2番3号																			
医療機関の名称	国保総合病院																			
医師の氏名	国保 四郎											電話番号	345-678-9012							

該当部分をチェックしてください。